

回のデータの一貫性は問題ないレベルであった。

2. 妥当性の検討

妥当性の検討を行うには術後のデータが必要となるが、現在の段階では、統計学的に十分な検討を行うだけのサンプル数が揃っていない。引き続きサンプリングを行っていく予定である。

3. 重みつけのためのプロトコル

今後、術前診査票（症型分類 I - 1 重みつけ記入用）を各施設ならびに日本補綴歯科学会の指導医、専門医に配布し、できるだけ多くのサンプルデータを集め、口腔内の形態的条件の重みつけを行う予定である。

4. 現在までのサンプル数

平成19年3月7日現在のサンプル数は、全部歯列欠損68症例、部分歯列欠損253症例、歯質欠損55症例、全部歯列欠損+部分歯列欠損38症例、不明64症例で、合計478症例であった。なお、何らかの理由により参加できなかったものが915症例と非常に多かった。コーディネーターは、各施設の担当医のモチベーションを高めるとともに、プロトコルの簡略化、合理化が必要であるのかもしれない。

D. 結論と今後の展望

本プロトコルの信頼性を検討した結果、術者の直感は信頼性が低かったが、口腔内の形態的条件、身体社会的条件、口腔関連 QOL および精神医学的条件においては信頼性に問題はなかった。

現在の医療において、診療ガイドラインの策定は重要な課題であるが、最終的には診療ガイドラインを用いた結果、診療行為が改善したか、患者の健康アウトカムが改善したか、医療経済的効果があったか、つまりパフォーマンスの評価が重要になるわけで、本調査はそれに十分に対応していると考えられる。

現在プロトコル用紙の配布数は1500近くにとぼり、その回収と分析が期待される場所である。今後は、重みつけも含めサンプル数を増やし、プロトコルの妥当性、パフォーマンスの評価についても検討を行っていく予定である。

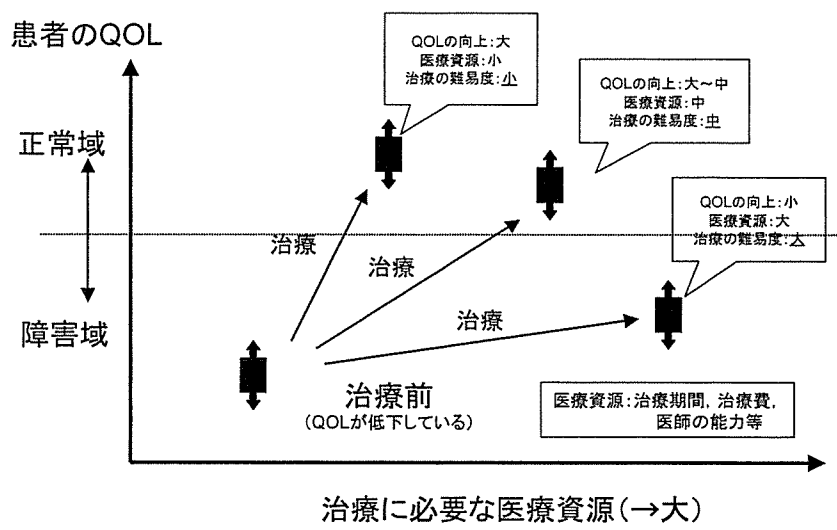


図1 治療の難易度の概念モデル

評価用紙2 (歯質欠損)

(網掛部 に記入もしくはチェックをお願いします。)

診査項目		内容				項目間の比率
診査歯		対象歯	要処置歯数			
1	項目内の比重(点数) 【歯髓の有無】	level I 10 有髓	level II <input type="checkbox"/>	level III <input type="checkbox"/> 不明	level IV <input type="checkbox"/> 無髓	<input type="checkbox"/>
2	項目内の比重(点数) 【残存歯質】 ・残存軸面or壁面数 ・歯質の高さ ・齲蝕 ・歯髓(有髓歯のみ) ・穿孔,亀裂,除去困難ホストetc.(無髓歯のみ)	10 <input type="checkbox"/> 3面以上 <input type="checkbox"/> 歯肉縁上2mm~ <input type="checkbox"/> 無, 軽度 <input type="checkbox"/> 健全 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 2面 <input type="checkbox"/> 0~2mm <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 残存歯質薄	<input type="checkbox"/> 1面 <input type="checkbox"/> 縁下 <input type="checkbox"/> 歯髓到達 <input type="checkbox"/> 歯髓到達 <input type="checkbox"/> 疑い	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 骨縁下 <input type="checkbox"/> 骨縁下 <input type="checkbox"/> 要抜髄 <input type="checkbox"/> 明確に有り	<input type="checkbox"/>
3	項目内の比重(点数) 【歯列不正, 位置異常】 ・転位, 捻転, 歯根近接 ・対合歯挺出 ・審美性(前歯のみ) ・顎偏位, 咬合位不安定(全顎)*	10 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 形態修正不要 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 補綴処置で修正可 <input type="checkbox"/> 軽度	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 中等度	<input type="checkbox"/> 重度 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 要矯正, 外科 <input type="checkbox"/> 重度	<input type="checkbox"/>
4	項目内の比重(点数) 【齲蝕罹患傾向】 ・修復歯+齲蝕歯数	10 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 少	<input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 中等度	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 多	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	項目内の比重(点数) 【歯周疾患】 ・口腔内清掃状況(全顎) ・動揺度(以下対象歯のみ) ・X線(歯槽骨吸収) ・根分岐部病変(X線, プローブ) ・ポケット ・プロビング時の出血	10 <input type="checkbox"/> 清掃良,問題無 <input type="checkbox"/> M0 <input type="checkbox"/> 殆ど無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ~3mm <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> M1 <input type="checkbox"/> ~1/3 <input type="checkbox"/> 陰影軽度, ~3mm	<input type="checkbox"/> 重度, 不良 <input type="checkbox"/> M2 <input type="checkbox"/> M3 <input type="checkbox"/> 1/3~1/2 <input type="checkbox"/> プローブ貫通 <input type="checkbox"/> 3~6mm <input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 重度, 不良 <input type="checkbox"/> M3 <input type="checkbox"/> 1/2~ <input type="checkbox"/> 陰影明確,3mm~ <input type="checkbox"/> 6mm~	<input type="checkbox"/>
100						総計

- * 臨床経験上, 各診査項目内のlevel I ~ IVの比重について, 最も易しいlevel I を10とした時の点数(0~9)を各欄に記入して下さい。
(難易度が高い程, 点数は低くなります。level I ~ IVの数値は逆転しても結構です。最も易しいレベルを10として下さい。)
- * 各診査項目間の占める比重について100%表示で右欄に記入して下さい。
(難易度に関わる比率が高い程, 数値は大きくなります。5項目の合計が100になるようにして下さい。)
- * 本症型分類に関する意見を下記にご自由にお書き下さい。

評価用紙2 (無歯顎)

(網掛部 に記入もしくはチェックをお願いします。)

診査項目		内容										比率(項目間)
1	欠損部顎堤形態 項目内の比重(点数) ・顎堤高さ(垂直) ・顎堤断面形態(頬舌)	level I 10	level II	level III	level IV	level I 10	level II	level III	level IV	比率		
		高(10mm~) U型	中 UV中間	低(~5mm) V型	平坦	高(5mm~) U型	中 UV中間	低(~0mm) V型	平坦,凹型			
2	粘膜性状 項目内の比重(点数) ・固さ ・厚み	level I 10	level II	level III	level IV	level I 10	level II	level III	level IV	比率		
		厚 U型	硬 UV中間	軟 V型	フライン・広範囲炎症 平坦	厚 U型	硬 UV中間	軟 V型	極軟 平坦,凹型			
3	対向関係 項目内の比重(点数) 矢状断前後関係 前頭断左右関係 前頭断顎堤, 顎間左右差	level I 10	level II	level III	level IV	level I 10	level II	level III	level IV	比率		
		良, 軽度の反対・過蓋咬合 偏位無, 少 無, 軽度	中等度の反対・過蓋咬合 偏位中等度 中等度	重度の反対・過蓋咬合	偏位大 顕著	良, 軽度の反対・過蓋咬合 偏位無, 少 無, 軽度	中等度の反対・過蓋咬合 偏位中等度 中等度	重度の反対・過蓋咬合	偏位大 顕著			
4	習癖等 項目内の比重(点数) ・異常習癖, 舌位etc. ・嘔吐反射	level I 10	level II	level III	level IV	level I 10	level II	level III	level IV	比率		
		無 無	有	舌位異常, 弄舌癖有 顕著	oral dyskinesia等	無 無	有	舌位異常, 弄舌癖有 顕著	oral dyskinesia等			
5	その他 項目内の比重(点数) ・骨隆起, 顎堤アンダーカット, 小帯位置 ・唾液量, 性状	level I 10	level II	level III	level IV	level I 10	level II	level III	level IV	比率		
		無 普通	1項目 多, 粘液・漿液性	2項目 量少	3項目 僅少, 極多	無 普通	1項目 多, 粘液・漿液性	2項目 量少	3項目 僅少, 極多			
										100 総計		

* 臨床経験上, 各診査項目内のlevel I ~ IVの比重について, 最も易しいlevel Iを10とした時の点数(0~9)を各欄に記入して下さい。

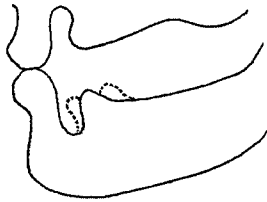
(難易度が高い程, 点数は低くなります。level I ~ IVの数値は逆転しても結構です。最も易しいレベルを10として下さい。)

* 各診査項目間の占める比重について100%表示で右欄に記入して下さい。

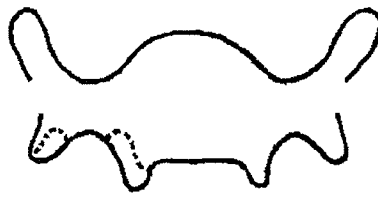
(難易度に関わる比率が高い程, 数値は大きくなります。5項目の合計が100になるようにして下さい。)

* 本症型分類に関する意見を下記にご自由にお書き下さい。

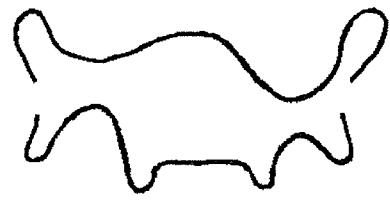
対向関係



矢状断前後関係



前頭断左右関係



前頭断顎堤, 顎間左右差

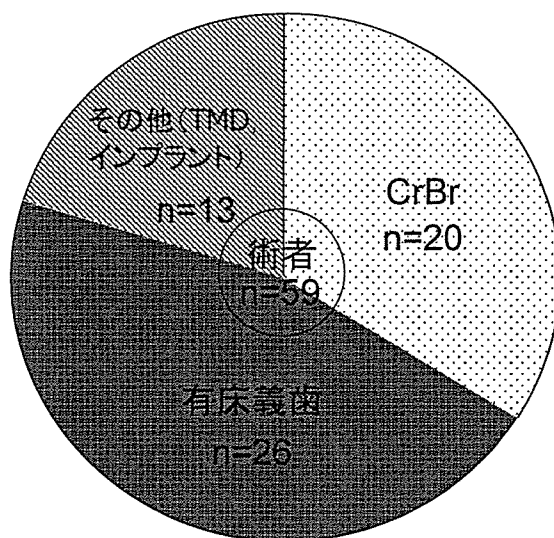


図3 術者の専門分野

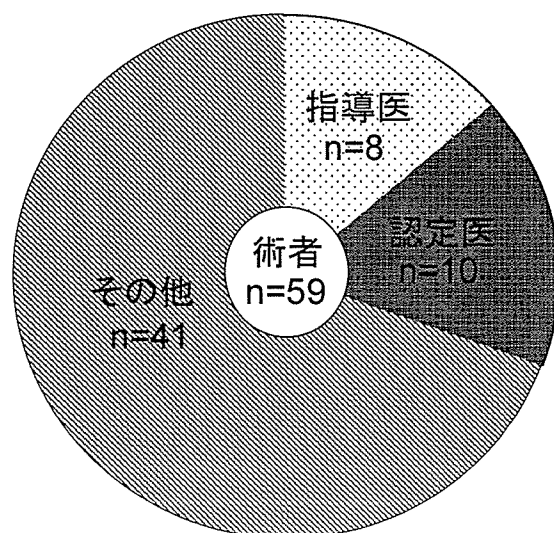


図4 日本補綴歯科学会指導医・認定医

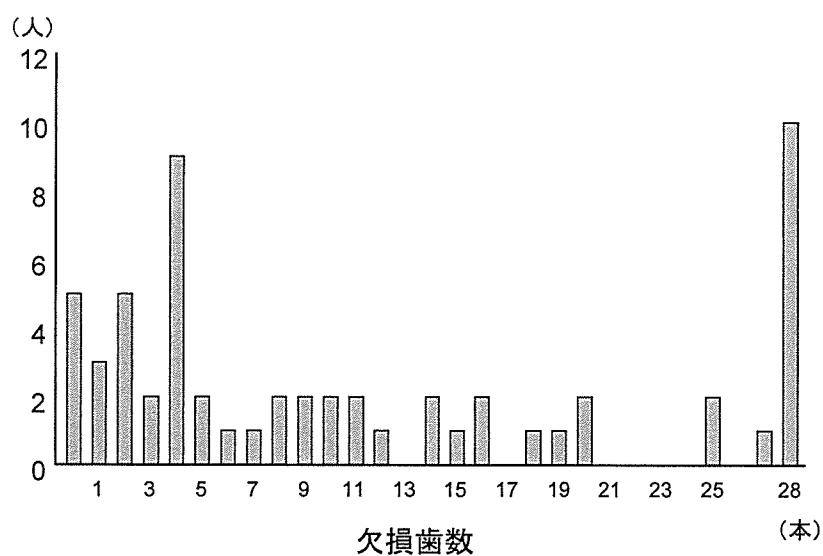


図5 欠損歯数

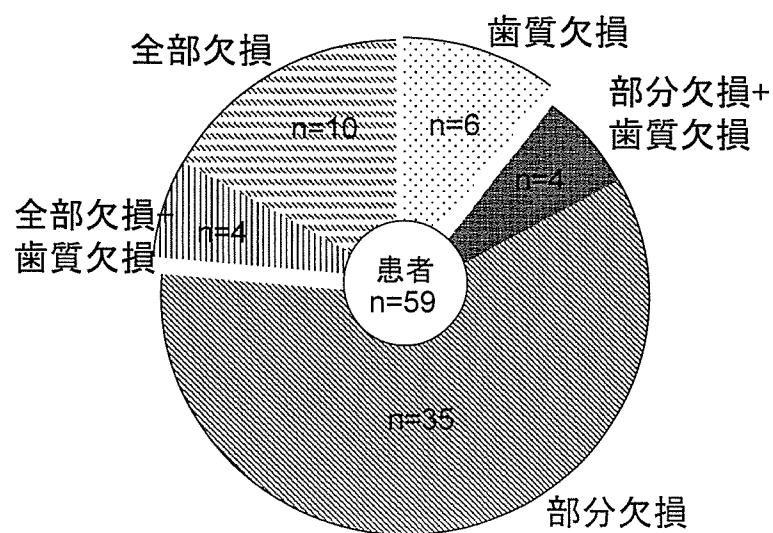


図6 欠損のタイプ分け

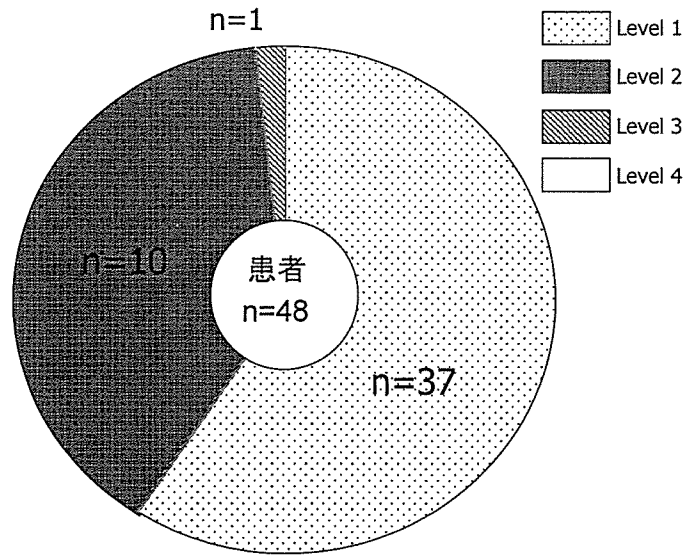


図7 身体社会的条件の評価

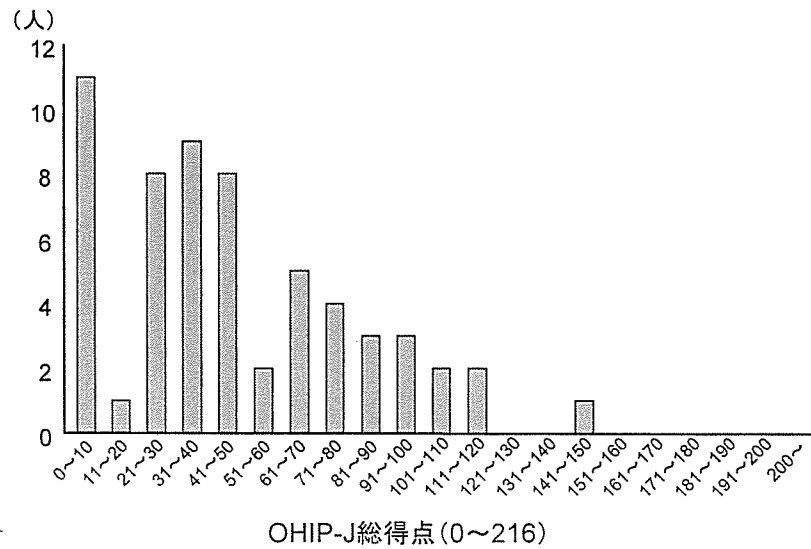


図8 口腔関連QOLの総スコア

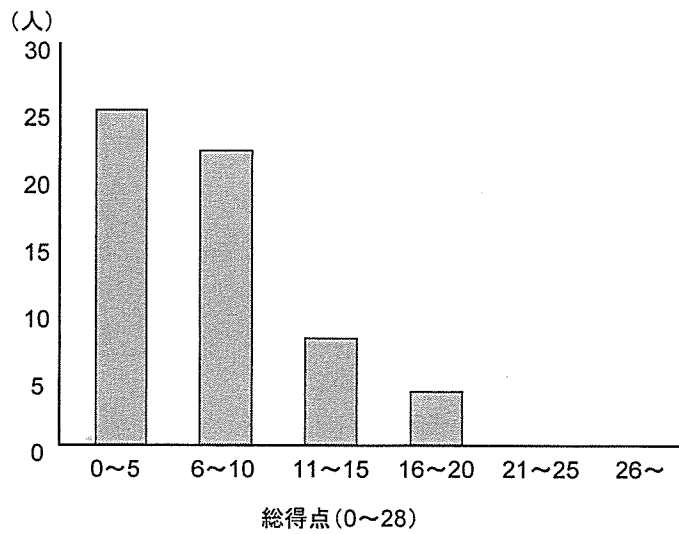


図9 精神医学的條件の総スコア

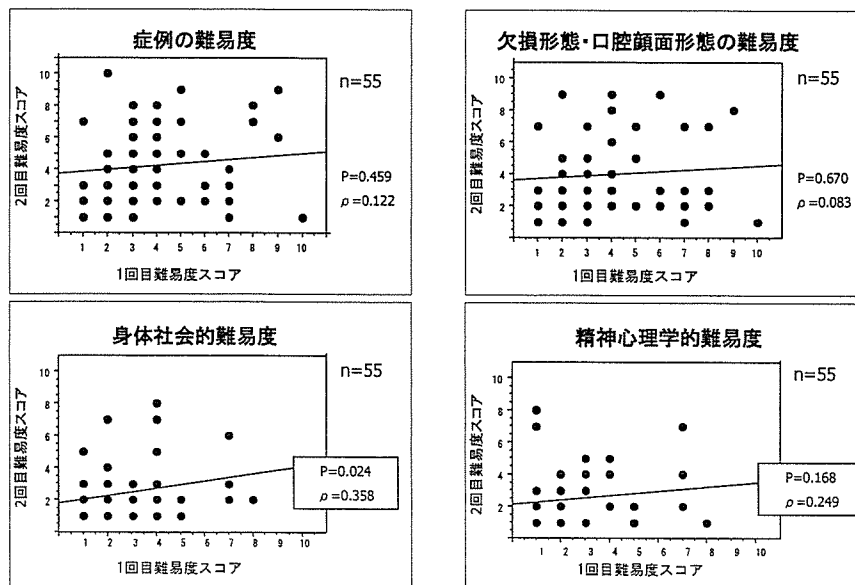


図10 術者の直感の信頼性

図11 形態的条件(部分歯列欠損)の信頼性

診査項目(サンプル数)	κ_w 値
1. 咬合三角 (n=40)	0.99
2. 欠損様式 上顎 (n=26)/下顎(n=27)	0.93/1.00
3. 補綴空隙 垂直方向 (n=40)/水平方向 (n=41)	0.78/1.00
4. 残存歯列・周囲組織の状況	
歯列不正・位置異常 (n=39)	0.88
う蝕罹患傾向 (n=35)	0.81
歯周疾患 (n=33)	0.89
5. 欠損部顎提形状	
欠損部顎提形態・骨隆起 (n=35)	0.81
粘膜性状 (n=36)	0.79
異常習癖・舌位異常 (n=37)	0.64

図12 形態的条件(全部欠損)の信頼性

診査項目(サンプル数)	κ_w 値
1. 欠損部顎提形態	
顎提高さ 上顎 (n=12)/下顎 (n=9)	1.00/0.87
顎提断面形態 上顎 (n=12)/下顎 (n=9)	1.00 /0.96
2. 粘膜性状	
固さ 上顎 (n=11)/下顎 (n=27)	1.00/0.82
厚み 上顎 (n=13)/下顎 (n=10)	0.89/0.90
3. 対向関係	
矢状断前後関係 (n=14)	1.00
前頭断左右関係 (n=14)	0.71
前頭断左右差 (n=14)	0.89
4. 習癖等	
異常習癖 (n=14)	1.00
嘔吐反射 (n=14)	0.69
5. その他	
骨隆起 (n=14)	1.00
唾液量・性状 (n=14)	1.00

図13 身体社会的条件の信頼性

診査項目	Kw 値	K 値	診査項目	Kw 値	K 値
1. 年齢	0.94	0.87	11. アレルギー	0.68	0.50
2. 糖尿病	1.00	0.79	12. AIDS	1.00	0.54
3. 脳血管障害	1.00	0.88	13. 痴呆(認知症)	1.00	0.76
4. 高血圧	0.96	0.91	14. オーラルディスキネジア	1.00	0.69
5. 心疾患	1.00	0.84	15. ステロイド服用	0.86	0.51
6. 呼吸器疾患	0.86	0.67	16. 喫煙	1.00	0.54
7. 肝炎	0.55	0.39	17. 飲酒・薬物依存	0.81	0.58
8. 胃腸疾患	0.49	0.40	18. その他疾患	0.90	0.58
9. 腎疾患	1.00	0.54	19. 身体機能	1.00	0.86
10. 血液疾患	0.72	0.45	20. 通院	1.00	0.84

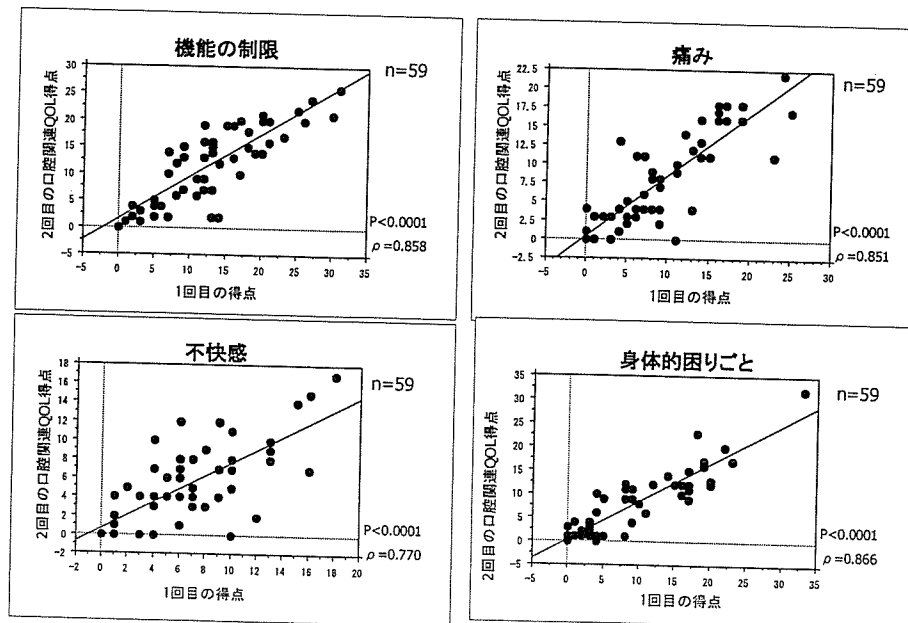


図14 口腔関連QOL(OHIP-J)の信頼性

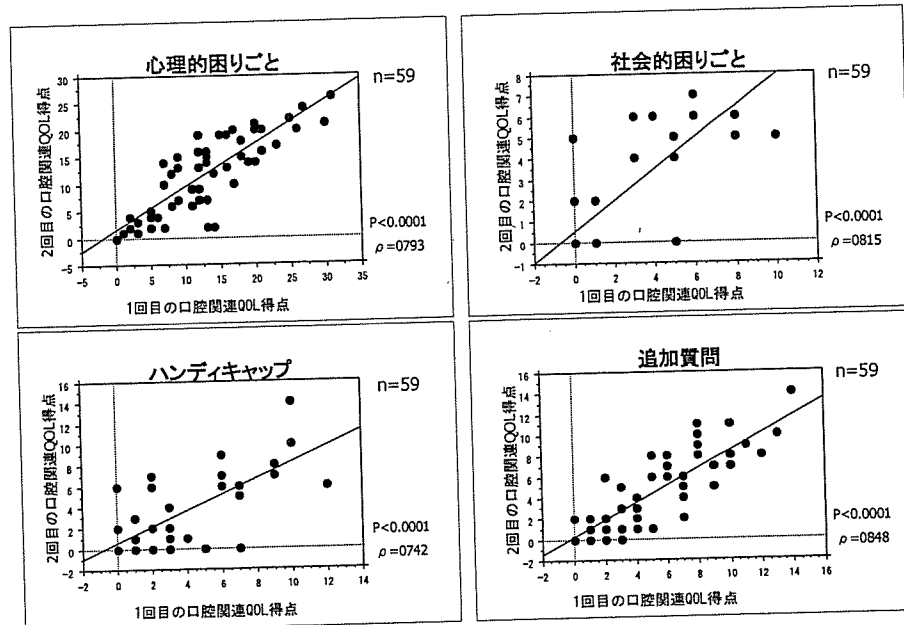


図15 口腔関連QOL(OHIP-J)の信頼性

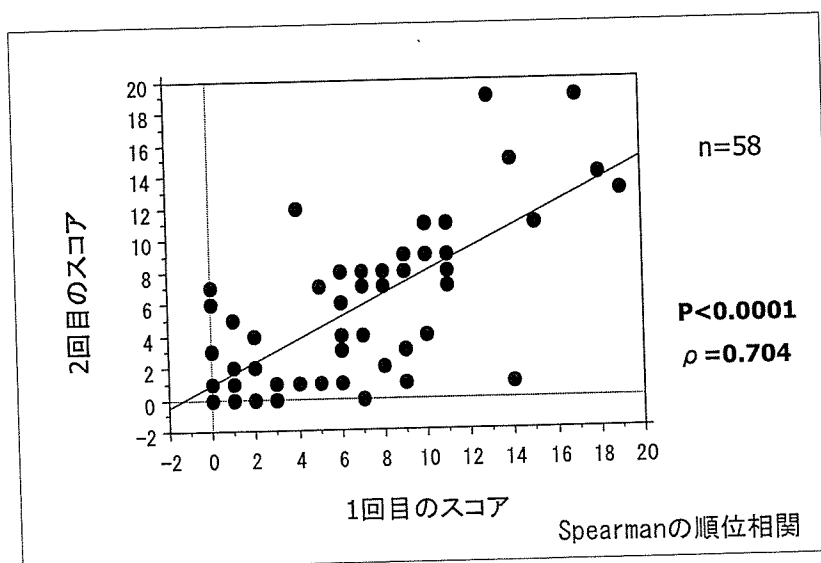


図16 精神医学的条件の信頼性